

日高胆振知的障がい児・者家族会 通信

家族会ニュース

平成28年度 第1号(通巻19号)
 発行 日高・胆振知的障がい児・者家族会
 事務局 苫小牧市字植苗一二二番地八
 緑星の里やまぶき
 印刷発行 2016年12月

日高・胆振知的障がい児・者家族会
 会長 津脇清一郎



会長 津脇清一郎

年の瀬も押し寄せまわってまいりました。皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から、当家族会の活動に対し、ご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

今年を振り返りますと、北海道新幹線開通、オリンピックでは日本選手活躍の明るい話題に励まされましたが、熊本地震や台風十号の被害に一日も早い復旧を願わずにはいられませんでした。

日高家族会としても、熊本地震への義援金を募り、六万円の協力をいただきました。道家族会全体では、義援金の合計は約七十四万円と聞いております。

また、先般の神奈川県相模原市の凄惨な事件は私たち家族にとって深く心を痛める事件でありました。道家連としては、子どもたちが、開かれた地域で安心して暮らしていくための施設の安全対策整備について考えました。侵入を防ぐための柵や門の設備を強化することだけでは、施設の孤立化を招くとして、防犯強化にかかる費用を国や道が負担するよう求めた、以下の要望書を十月三日、道に提出しております。

【内容】

- 一、職員配置について、特に夜間の職員配置をユニット二名以上とする。
- 二、各施設事業所の要望をくみ取り、必要な対策をとる。
- 三、グループホームは防犯が脆弱に



なる事も考慮し、夜勤職員を配置すること。

四、以上の対策に要する費用については、国または道において保障されること。

また、十一月九日には第十二回国大会決議文を道に持参したところ。

今後関係者の皆様と、歩調を合わせ活動を充実して参りたいと考えています。当家族会に対し、皆様方これまで以上のご理解とご支援をお願いいたします。

時事通信

福祉施設の防犯強化

道、補正予算案に計上へ

道は、十一月二十九日開催予定の定例道議会に提出する2016年度一般会計補正予算案に、福祉施設の防犯対策強化などに対する補助金を盛り込む方針。総事業費は国庫補助分を含め約六億三千万円。防犯力メらなどの設置費の一部を支援し、安全な施設環境を整える。各施設からの申請を受けて、一施設当たり事業費上限は百八十万円。上限内の費用の半額を国が負担し、残りの二分の一を道が補助する仕組み。

(十一月十七日北海道新聞より抜粋)



日高・胆振知的障がい児・者家族会入会のご案内

随時会員募集中

第十二回全国大会福岡

去る、十月十八・十九日、セントラージ博多において、第十二回全国大会が開催されました。全国から六百六十名が参加され、北九州市立大学小倉久教授の基調講演に始まり、「親・家族が考える施設がもっとよくなるための条件は何か」と題して、全員参加型の討論会を行いました。今回のテーマである「新しい施設」について、利用されているご本人やご家族、施設職員の方など、さまざまな立場から意見を交わし、意義深い機会になりました。

平成二十九年道家連総会

次年度の総会日程が決まりました。

日程 平成二十九年五月二十八日

会場 札幌市教育文化会館

編集後記

今年も各家族会、事業所の皆さまには大変お世話になりました。来年も、微力ながら皆さまのかけはしとなるよう、勤めさせていただきますのでよろしくお願いたします。